

# おおま

No. 103  
岬の光

令和元年11月1日発行

議会だより



令和元年9月10日  
材木稻荷神社例大祭

## 9月定例議会 主な内容

○議長総務大臣表彰・令和元年 第3回定例会

P 2

○平成30年度 歳入歳出諸決算

P 3

○報告（三ヶ町村協議会）

P 4

○3議員が一般質問

P 5～7

○報告（議会広報研修会／原発視察研修）・編集後記

P 8

# 栄えある総務大臣表彰受賞

去る10月4日、市町村議会議長12年以上に対する総務大臣表彰を、また同月15日には、市区町村議会議員35年以上に対する総務大臣感謝状を、大間町議会議員石戸秀雄議長が被表彰者に決定し、東京都において、総務大臣より表彰状を授与されました。

## 石戸議長より一言

挨拶のスペースをいただきましたので、感謝の言葉を添えさせていただきます。

台風15号が千葉県で風速57mを記録して被害をもたらした、その傷も癒えぬうちに今度は19号とダブル台風。日本は広範囲に深いダメージを受け、多くの尊い命が失われました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

政府は台風19号被害を「特定非常災害」と認定しました。

このようなスーパー台風は、今度はどこに上陸するか予想できません。大間町も万全の備えを考えていかなければと思います。



被害で大変な状況の中、ラゲビー日本代表はベスト8まで勝ち進み、多くの人々に感動を与え、忘れていた日本人の心呼び戻してくれた気がします。

「光陰矢の如し」  
人生とは早いものです。  
私も今月で70歳になります。  
長年の議員生活で知り得た人脈と経験を生かし、大間町の発展に寄与したいと考えています。

皆様の御多幸を御祈念し、受賞にあたり感謝の御礼とさせていただきます。

## 第3回 9月定例会

令和元年第3回定例会を9月6日開会、9月13日閉会。  
提案された議案すべて原案のとおり可決しました。

	平成30年度	早期健全化基準
実質赤字比率	△ 8.2%	15.0%
連結実質赤字比率	△ 14.6%	20.0%
実質公債費比率	16.6%	25.0%
将来負担比率	32.9%	350.0%

平成30年度  
財政健全化  
審査意見書

	資金不足比率	経営健全化基準比率
大間町水道事業会計	0.0%	20.0%
大間町下水道事業特別会計	0.0%	20.0%

平成30年度  
経営健全化  
審査意見書

平成30年度  
歳入歳出諸決算

留意改善を要する事項、一般会計の収入未済額は、1億216万5千円で、このうち主なるものは、町税9987万8千円である。

特別会計等の収入未済額は、3億1710万2千円で、前年度より、1878万3千円（5.9%）減少している。

このうち主なるものは、国民健康保険特別会計2億2648万5千円、介護保険特別会計1564万円、水道事業会計4985万8千円、奨学基金貸付金2341万4千円である。

条例の一部改正

- ・大間町行政財産使用料徴収条例等
- ・大間町議会の議決すべき事件を定める条例
- ・大間町奥戸ゆうゆう館設置条例
- ・大間町税条例
- ・大間町印鑑の登録及び証明に関する条例
- ・大間町海峽保養センター条例
- ・大間温泉養老センター条例
- ・大間町立幼稚園保育料徴収条例

令和元年度  
一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ1億7924万円追加し、予算総額を46億5573万円とした。

令和元年度  
介護保険  
特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ128万円追加し、予算総額を5億7090万円とした。

令和元年度  
下水道事業  
特別会計補正予算

歳入の組替補正で、浄化センター管理費委託料75万円を減額し、工事請負費に75万円を追加計上した。

令和元年度  
水道事業会計  
補正予算

資本的収入及び支出の補正であり、収入では負担金で1980万

人事案件

円追加し、総額9588万円、支出では、建設改良費で1980万円追加し、総額1億8209万円とした。

大間町教育委員会教育長



佐藤桂一氏

大間町教育委員会委員



小向英徳氏

人権擁護委員



古畑龍泉氏



岩佐育夫氏

第3回  
9月定例会

歳入・歳出諸決算審査特別委員会  
平成30年度

歳入・歳出諸決算を



財政収支

(円)

	一般会計	国民健康保険 特別会計	後期高齢者医療 特別会計	介護保険 特別会計	下水道事業 特別会計
収入済額	67億5,717万	8億0,726万	5,314万	5億5,976万	2億4,267万
支出済額	65億6,375万	7億5,658万	4,877万	5億5,735万	2億4,267万
差引残額	1億9,342万	5,068万	437万	240万	0
基金繰入金	1億6,000万	4,868万	0	240万	0

※千円以下は切り捨てておりますので1万円の差がでている箇所があります。





# 一般質問



岩泉 盛利 議員

質問時間 40分

## 大間町自治体の 公共施設について

**問一** 町には多くの公有財産の建物が設けられているが、その施設の老朽化が進んでいるように見える。今後の対応策を問う。

**町長答弁** 平成28年に大間町公共施設等総合管理計画を策定し、施設の更新、統廃合、長寿命化などの最適化を図り、長期的経費の軽減標準につながる適正な管理を推進し、健全な財政運営に努める。

**再質問** 公共施設を管

理する町の台帳に、各施設の建設年月日の記載がないのは何故なのか。条例で定めているのであれば、条例改正をするべきだ。

**町長答弁** 台帳の建設年月日の記載に関しては、私自身確認できていないので答えられないが、大間町公共施設等総合管理計画には記載されている。今後、老朽化の施設のチェックをしながら対策を講じていく。

**再質問** 建設の年月日については答弁が出来るが、公共施設一覧表では約120棟以上の施設があ

る。旧役場庁舎は1930年建設とあるが、旧大間病院の記載がない。決算書の財産に関する調書明細書にも建設年月日の記載がない。また、旧奥戸漁業協同組合についても普通財産に建設年月日がない。その2点について聞く。

**町長答弁** 旧大間病院は大間病院として建設されたが、一部事務組合下北医療センターに移管され、医療センターの財産として取り扱われてきたもので、町の計画の中では記載漏れとなっている。今後十分注意し精査していく。旧奥戸漁業協同組合の年月日に関しては、さらにチェックする。

計画の中の記載に関しては、町の建物と認識を持って管理して以来、今は利用できない状況であるので、地域の安全を確保する解体を進める。

**再質問** 旧大間病院については下北医療センターに移管されたと聞いているが、今回、町の財源で解体工事をするのはいかがなものかと思っていた。旧奥戸漁業協同組

合については活用されていないということ、奥戸の祭典に関わる山車の車庫に利用したいと提案したが、反対意見があり断念した経緯がある。いずれにしても、古い建物で解体を一日も早く進めてもらいたい。この一覧表を見る限りでは、大間

公民館の64年を初めとし、30年から40年は44棟の施設、40年から50年は49棟で、町営住宅や教職員住宅が多く、奥戸館ノ上の町営住宅は54年から66年と古く、今後解体、建替えを考える時期だと強く感じる。これらの問題を解消するための財源はどう考えているのか。

**町長答弁** 老朽化した施設等の建替えについては、補助金の対象制度を活用して計画を進めていく。制度が活用できないものに関しては、老朽化の程度を把握しながら、危険度の高いものから解体工事を進めていく。

**再質問** 建物には必ず維持管理が必要だ。奥戸交流館やゆうゆう館についても考えるべきだ。今回の補正予算の公共施設

運営基金3078万5千円は、どの施設の維持管理費なのか。私は施設の建設計画時点で管理費を計上しては、と考えるが。

## ふるさと納税について

**問一** ふるさと納税で寄附獲得額から住民税の控除による減額を差し引いた収支を聞きたい。

**町長答弁** 町の平成30年度の納税寄附獲得額は155件の837万5千円で、他市町村に納税を行った件数は36件の38万7319円、寄附獲得額から住民税控除による減収額を差し引くと、658万7680円。

なお、返礼品の支払額は270万670円で、収入額は388万7011円となり、現時点では赤字になっていない。

**再質問** 平成20年12月にふるさと納税応援基金や基金条例を設置し、寄附金の使い道や返礼品もAコースからFコースと定め、納税額の三割程度の金額の返礼品と決めているが、29年度の寄附金は864万円、30年度は838万5千円で、30年度決算年度現在高は980万3998円であるが、どのような事業に使われているのか。

**町長答弁** 使用目的を明示した方や、自由に使うて下さいという方もいる。主に仔牛の導入費、商工会への補助金、観光協会への補助金に使用している。

**再質問** 条例の第2条の6項に町長が必要と認める事業とあるが、この基金は個人サービスではなく、地元の住民全体のサービスに使用すべきだ。

**町長答弁** 町が予算化している部分に関しては、全て住民の福利厚生につながるよう監視し、運用させていただく。

# 一般質問



野崎 信行 議員  
質問時間 60分

**問一** 「材木津鼻崎」洋上風力発電を誘致すべきである。

**町長答弁** 洋上風力は困難と考えます。

**問二** 「大川目ソーラーシェアリング」について、町で出来ないのか。

**町長答弁** 関係者との同意が得られれば可能と承知しております。

**問三** 「大間消防署」に水上オートバイを設置すべきである。

**町長答弁** ボートが有効と伺っております。

**問四** 各漁港に、防犯カメラが付いていな

いので、防犯のため設置すべきである。

**町長答弁** 漁協、県等関係機関と協議してまいりたいと思います。

**問五** 「大間まぐろ」をオリンピック食材に立候補すべきである。

**町長答弁** これは非常に難しい問題ではなからうかというふうに思います。

**問六** 「全国ドローン競技大会」を大間町主催で開催し、普及に尽力すべきである。

**町長答弁** 大会を町が主催するという考えはございません。

**問七** 一本釣りのプラスチック船が散乱され困っている。そんな現状を打破するため

に、バイオマス・プラスチック工場を誘致すべきである。

**町長答弁** できないと思います。

**問八** ポーランドでは、35歳以下の若者について税金はゼロである。大間町でも35歳以下の若者は税金をゼロにして、若者が集まる自治体にすべきである。

**町長答弁** 現状では困難と考えます。

**問九** 北海道では各地で廃校が多く発生し、その跡地を「障害者学習センター」として活用している。奥戸中学校跡地も「障害者学習センター」として活用すべきである。

**町長答弁** 今、庁舎内において、その検討をしているところであり

ます。

**問十** 「空き家対策連携協定締結」につい

て、町も活動すべきである。

**町長答弁** 協定締結に向けた準備をしているところであり

ます。

**問十一** 「国土強靱化計画」を早急に策定すべきである。

**町長答弁** 調査しながら研究してまいりたいと思います。

**問十二** 現金を使わないキャッシュレス決済の利用促進で「日本一買い物しやすい街」を目指す運動が、仙台

市中心部の商店街である。町でも早期に体制を整えるべきである。

**町長答弁** かなりハードルの高いものと思います。

**問十三** 「クロマグロ完全養殖」について、浅虫水族館と協力して飼育・展示をすべきである。

**町長答弁** 現在その考えはございません。

**問十四** 「再生エネルギー」固定資産税7千万円を、ピロリ菌検査無料、大間温泉70歳

以上を無料とし、活用すべきである。

**町長答弁** 現時点では考えてございません。

**問十五** 大間病院薬局で薬を出す事務処理に非常に時間がかかり、不満を口にする住民が多くいる。改善のため対策を講じるべきである。

**町長答弁** 今後、電子カルテに移行するとうちの準備も進めているところであり

ます。

**問十六** サル・カモシカ・クマの追い払い、追跡調査にドローンを活用すべきである。

**町長答弁** 今後の課題としていきたいというふうにあります。

**問十七** 弘前大学生が「地域おこし協力隊」として参加していると聞く。どの様な仕事をしているのか、活用内容を知らせてほしい。

**町長答弁** 観光推進の支援員として、観光情報サイト、SNSで

の発信等となります。

**問十八** 大間町で取り組んでいる、アワビ・ナマコの養殖事業の事業費4千万円について、アワビをどれくらい放流し、どのくらい

の漁があったのか、ナマコも同様に事業結果を知らせてほしい。

**町長答弁** アワビ放流事業については、大間漁協で4回、35万5600個放流し、水揚げは165キロ、133万2000円。奥戸漁協で4回、15万2400個放流し、水揚げは14キロ、10万5000円となつて

います。ナマコ放流事業は、大間漁協1回、8700個放流し、水揚げは7596キロ、1661万5000円。奥戸漁協1回、8700個放流し、水揚げは4733キロ、754万6000円となつており

ます。

22の質問の中から18を掲載いたしました。



# 一般質問



堺 祐介 議員

質問時間 40分

## 子育て支援事業について

**問一** 大間は他の町村と比べ、子育て支援が充実していないと感じる。共働きの家庭の悩みが、放課後の子どもたちの居場所の問題です。学童保育といわれる放課後児童クラブ(以下児童クラブ)が、大間にも必要とされる時期に来ている。子どもたちを安全に預けられる場所と、保護者が安心して働ける環境をつくっていくことが必要です。先日行われた大間町子ども子育て会議の資料に大間町子ども子育て支援事業に関するニーズ調査結果報告書によると、児

童クラブの必要性数字も表れている約3割が、児童クラブの利用を希望。冬・夏休み期間の利用希望者は、6割を超え、アンケートの内容の半数は、児童クラブの開設の強い要望、保護者の方の話しでは、今のままだと仕事を辞めなければならぬと聞きました。

**町長答弁** 町では補助金を活用し、放課後子ども教室(以下子ども教室)を夏休み・冬休みを除き、週5日のうち水曜日は、2時間程度、部活の開始までの1時間程度、奥戸は、毎週土曜日に2時間程度実施している。児童クラブには、補

助金を活用する場合、1日3時間以上、年間250日以上、放課後児童支援員の資格を有した者2人以上の配置義務がある課題として、運営にあたるマンパワー不足。しかし共稼ぎの家庭が増える中、則した子どもたちの安全な居場所の確保は必要である。今後、子ども教室、児童クラブという選択肢のある中で、関係機関と検討調査をしながら、前向きに進めてまいりたい。

**再質問** 長い期間この問題に関しては、放置されている部分もあった。子ども教室は、週1回、水曜は、低学年は4時まで、時間的にも仕事を休んで、迎えにいかなければならぬ。

**町長答弁** 強化ということに関しては、教育委員会、文科省の事業に合わせ、計画を持ちながら進めている小1の壁ということも言われ、その認識を全く持っていないが、保育の部分、就学

前の子どもたちの部分にある程度傾いていた。今できること、次の課題を早期に解決しながら対策を講じていく。28年からの計画については、今データを持ち合わせていないので、教育委員会に答えてもらいます。

**町長答弁** 人口減少は、自然増、自然減、亡くなる方、誕生する命というところからくるものでありまして、全国的な少子高齢化の時代にあつては、これを止めるということは非常に難しい。今地域の人口を増やしていくということになりまして、町に入ってくる人口、町に人を呼ぶか他人事ではないが、原子力発電所が順調に進んでいけば、この部分にはいい方向に進めてきた要素もある。例えば、自然増は、働き方をどうするかというところに辿り着く子育て、児童クラブといったものを充実して行くという努力、これからさらに充実させていきたい。まずは、働く環境をつくり、子どもを育てていくというところを注がせていきたいと思います。

**再質問** 検討が長すぎる。厳しいことを言わせてもらいますが、保護者にとつては、共働きしなると生活が苦になつてしまふという死活問題なことがある。検討する、検討するって、28年から協議されず今も新しい時代です。何かあつてからでは遅い。家に子どもが一人でいて、火事を起こして亡くなつてから考えますでは遅い。この問題は、厚生労働省と文科省の事業で、管轄が別々で、その枠組み自体

**町長答弁** 答弁の中で即時対応できなかったこと、申し訳ございませんでした。放課後の子ども対策は、町としても大きな課題の一つであります。保護者の皆さんが安心して働けるかということ、非常に大事なことで、行政としての縦割りの部分の弊害等もある、それを横断的に考えながら制度を進めていく。子ども子育ての充実については、非常に大事なことで、行政が担うべき役割、地域全体として担っていく必要があるのではないものと思う。庁舎内だけの検討じゃなく、保護者の皆さん、地域の皆さんを交えながらの意見交換が、大事なことです。

**再質問** 大間町の人口は、8月現在5260人、10年前の8月は、6243人およそ1000人の減少になっていきます。単純に計算しても、10年後は、4000人弱になる可能性が秘めている町として対策は?

報

告

# 令和元年度 町村議会広報研修会

シェーンバッハ・サボー 東京 令和元年9月24日



研修会の様子(堺 撮影)



研修会の様子(堺 撮影)

令和元年度町村議会広報研修会が、9月24日に東京都千代田区にあるシェーンバッハサボーで行われました。全国から176町村の議会広報の担当者が集まり、大間町議会広報編集委員会からは、佐々木副委員長、竹内委員、堺委員の3名が出席しました。研修会は、

講師 豊田健一氏による

「読者目線で親切な広報誌を作るには―手に取られ、読まれ、行動に結びつけるには―」

講師 前田安正氏による

「情報をわかりやすく伝える」

講師 吉村 潔氏による

「町村議会広報コンクール 上位入賞団体の評価ポイント」3つをテーマにした構成になっており、4時間(休憩を含む)の研修会でした。

議会広報の重要性と、読む町民の皆様が議会に関心を持てる広報の編集を行っています。

議会広報は、町民の皆様へ、議会傍聴への招待状です。

議会広報を見て関心を持って頂きましたら、ぜひ傍聴に。

(記)堺

報告

中国電力株

島根原子力発電所

視察レポート!

去る7月22日、中国電力株・島根原子力発電所の視察に参加しました。

大間原発も規制委員会の事前検査を控え緊張の面持ちで参加してまいりました。

各施設、詳細な説明をしていただき、納得・参考になる事柄が多くありました。

特に周りが海の大間原発において、1つには、津波対策・海拔15メートルの防波堤の設置、2つ目に巨大な地震の揺れに備える多重の浸水防水対策が印象深かった。

地域振興を考える産業民生常任委員長として、本題ではないものの、完成間近の施設を抱え、どのような地元産業振興策があるのか勉強したかった。

(記)野崎



編集後記

ラグビーワールドカップ日本大会が、日本中で盛り上がりました。自分には、にわかファンですが、日本を代表して戦う選手に感動します。

サッカー日本代表も次のワールドカップ出場のためにアジア予選を戦っています。

野辺地町出身の柴崎岳選手が日本代表の中心として活躍しています。

大間町も有能な人材は沢山います。近い将来もう一度日本を代表する選手が出て来ることを願っています。

大間の厳しい冬がやって来ます。寒さ厳しく続く折、ご健康にお気をつけください。

(記)堺

議会広報編集委員

委員長

副委員長

吉田 安男  
佐々木 信彦

委員  
堺 祐介  
野崎 信行  
竹内 盛利  
岩泉 利雄